

■ 英語英文学科のアドミッションポリシー

■ 学科のめざしているもの

(1) 英語力の向上

聴き、話し、読み、書く、という英語の四技能の習得を通じて学生のコミュニケーション能力を伸ばすことを目標にしています。少人数クラスで授業を行い、教員が一人ひとりの学生と向きあって、相互の意思を明確に表現する授業をめざしています。

(2) 国際教養人の育成

英米文学や英語学・言語学を主として学修しながら、広く一般教養も身につけ、異文化を理解しつつ、また自国の言語・文化を世界に発信する人材を育てることを目標にしています。

■ 上記の教育目標をかかげて、英語英文学科ではこのような人を求めています

(1) 英語に興味があり、英語力を伸ばしたいという意欲的な人、また、国際的視野をもち、自国と外国の橋渡し役になることをめざす人を求めています。

(2) 人生について深く考え、自分だけでなく他人の人生も豊かにし、社会に貢献するという意識をもった人を求めています。

■ そのために、高校での学習内容については、次のことを求めています

英語英文学科では、学修の中心に英語が関わっているので、英語の基礎力をきっちりと身につけておく必要があります。高校で学ぶ英語は、基本的な英語力を身につけるうえで非常に有効ですので、地道に一步一步学んでください。

また、高校の授業は、本学科と直接関係ないように思える分野であったとしても、どこかでつながっています。つまり、高校での授業全般を真摯に学んでいただきたく思います。

■ 日本語日本文学科のアドミッションポリシー

■ 学科のめざしているもの

本学科のカリキュラムは、古典籍を活用し歴史的文化への理解を深め、近現代文学を素材として人間の思想や感情とその表現の理解を試みる<日本文学分野>、現代のコミュニケーションのあり方を探究し、日本語のしくみについて考える<日本語学分野>、国語科・書道科教員としての実力を養成する<言語文化分野>、この三分野から構成されています。本学科では、長い歴史に培われた日本の文化を理解し、また、現代日本を成り立たせている日本語表現の実際に触れながら、柔軟な思考力・判断力といった社会における基礎的な力を養い、自ら発信できる人材の育成をめざしています。

■ 上記の教育目標をかかげて、日本語日本文学科ではこのような人を求めています

- (1) 日本人の心・ことば・感性・思考などに関心を持ち、その本質を深く探究しようとする人を求めています。
- (2) 自ら問題意識を持ち、探究しようとする意欲のある人を求めています。
- (3) 自らの内面や思考力・表現力を高めることをめざしている人を求めています。

■ そのために、高校での学習内容については、次のことを求めています

日本の文化・日本語に興味をもって学ぶことはもちろんですが、さらに関心のある事柄については、日本文学や日本語学に限らず、積極的に学んで知的な視野を広げていただきたいと思います。そのためには、国語に限らず、高校での学習全般が生きて役立つものになります。

■ 現代社会学科のアドミッションポリシー

■ 学科のめざしているもの

本学科は、社会学・歴史学・地理学・民俗学・考古学などが連携して、人間の社会を多方面から考察する学科です。資料の読解やフィールド・ワーク(実地調査)をもとに、現代と過去のさまざまな社会事象を分析していきます。これらを通じて、自ら資料を収集する能力、得られたデータを緻密に分析する能力、体系的・論理的に首尾一貫した主張ができる能力、そして状況への深い理解をもって社会に貢献していける人材を育てます。

■ 上記の教育目標をかかげて、現代社会学科ではこのような人を求めています

現在と過去とを問わず、広く社会に対して関心をもつ人、本や新聞など活字メディアに親しめる人、対象を深く分析したいという知的探究心の旺盛な人、自主的・積極的に調査や研究に取り組むことができる人—そのような人を歓迎します。

■ そのために、高校での学習内容については、次のことを求めています

社会に関して、現在・過去ともに関心を持っておいってください。そのためには、高校の社会を学ぶことが重要ですが、それだけに限らず、高校の教科全般を学習し、なにごとにも幅広い関心をもつこと、とくに「これについて深く知りたい」というものをもつことを期待します。